令和5年度えびの市重点施策外部評価結果 政策検証委員会付帯意見の要約

「令和5年度えびの市重点施策外部評価結果(令和5年9月)」へ記載されているえびの市政策検証委員会からの主な付帯意見を内容別に整理したものとなります。

各重点施策に対する評価結果や具体的な意見等については、「令和5年度えびの市重点施策外部評価結果(令和5年9月)」にてご確認ください。

【1】施策の広報(PR)について

- ・ 市の広報だけでなくSNSを使って市民に知ってもらい、参加してもらう取り組みをぜひ進めてほ しい。
- ・ 市民が体験する取り組みを増やしてほしい。
- 就農支援体制がわからず断念した事例があったため、広報強化が必要である。
- ・ 市民が市政のことを知らず、情報の入手先が周知されていない。また、自治会に加入していない方 もいる。
- ・ いかに多くの人へPRするか、コロナが明けてみんなが外に出ていくなかでのメディア戦略をぜひ やってほしい。
- ・ えびの市の取り組みについても積極的に発信する必要がある。

【2】評価項目の設定について

- ・ 市民参画という視点が足りない。マニフェストに入れる仕掛けが必要である。
- ・ 国、県の方針とは別に、えびの市独自で目指すべきところを設定できるのではないのか。
- ・ 今までと同じやり方ではうまくいかないため、従来のやり方を超えた取り組みが必要である。

【3】市民・団体との関与について

- ・ 官民連携ができる余地が大きいのではないか。
- 市長のマニフェスト以外にも重要なことがあるので市民同士で話す場が必要ではないか。
- 市民が市長にお任せになってしまっている。
- えびの市のことを知らない方が増えていくのは残念。えびの市のことを話す機会ができるとよい。
- それぞれの団体に関係する内容は、市が出向いて説明するくらいのことがあってよい。
- ・ えびの市の魅力を対外的に発信する最大の主体は市民であることを市は認識し、理解してもらうよう取り組むべき。

【4】評価の方法・実施時期について	

・ 政策検証委員会は前年度(令和4年度)に実施した重点施策の評価・検証となっているが、本年度 (令和5年度)に実施する事業についての議論ができていないため、無駄にしているのではないか という感覚になってしまう。